



気候変動に関する出前授業について

栃木県気候変動適応センター

藤井小学校5年生・6年生の保護者のみなさまへ

「気候と暮らしに関する質問票」に御回答いただきありがとうございました。

授業では、変化してきた「気候」と「暮らし」について学び、日常生活で何ができるのかを考え、自分が取り組むことを宣言書に記入して発表しました。

お子様に配布した教材資料を御覧いただき、「地球温暖化の防止」や「気候の変化（気候変動）による影響への適応」のために何ができるかを、御家庭でお話しただければ幸いです。



【11/24 出前授業の内容】

1 身近な気候の変化

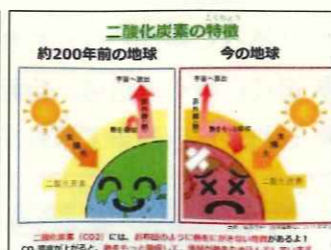
御協力いただいた「気候と暮らしに関する質問票」の結果をまとめ、気づいたことを発表しました。

また、気温や雨が変化して暮らしに影響していることを、グラフやクイズを使って理解し、環境省が作成した「西暦2100年の天気予報（動画）」を見ました。



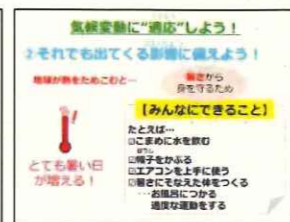
2 暮らしの変化と地球温暖化

便利になった現在の暮らしが地球温暖化の原因になっていること、それにより気候変動が起きていることを学びました。



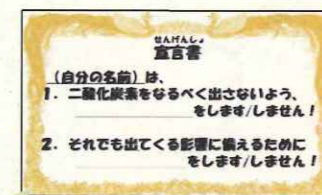
3 地球温暖化をとめよう！ 気候変動に“適応”しよう！

地球温暖化を進めないために、毎日の暮らしで何ができるかを考えました。た、気候変動による影響に備えるために、何ができるかを考えました。



4 何をするか宣言しよう！

最後に、自分が心掛けていくことを決めて宣言書を書き発表しました。宣言書は自宅に貼るようお願いしました。



～ わかったこと・気づいたこと ～ (一部抜粋、漢字に変換)

- ◆ 100年後、栃木県は宮崎県と同じ気温になってびっくりして、このままだとハワイと同じくらいの気温になると思った。宣言書をもとに取り組んでいきたい。
- ◆ 私達は二酸化炭素をたくさん出していることがわかったので、自分にできることはちゃんとやろうと思った。
- ◆ 二酸化炭素を出さないために電気を節約したり、大雨に備えるために天気予報をこまめに確認する。
- ◆ これからは、部屋にいないときは電気を消す。
- ◆ できるだけ電気を節約する。
- ◆ 木が二酸化炭素を吸収していることがわかった。
- ◆ なるべく車などは使わずに、自転車などに乗る。天気予報などを、こまめにチェックする。
- ◆ 遠くに行くときは、自転車などで行くようにしたり、こまめに水を飲むようにしようと思った。
- ◆ これから自転車で移動することを心がける。二酸化炭素が地球に熱をためていることは初めて知った。

栃木県気候変動適応センター【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3186】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください (<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

